

# 第51期 事業報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日



株式会社





スパンザウォール工法



代表取締役社長

**権藤 勇夫**

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第51期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の営業の概況等につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

# 企業集団の現況に関する事項 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

## 1. 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、高水準な企業収益を背景とした設備投資拡大等により、国内景気は好調を維持しているように見受けられました。しかしながら、原油及び原材料価格の高騰といった逆風が強まり、更にサブプライムローン問題の影響等による米国経済の減速懸念を中心に海外経済の不透明感も増してくるなど、今後の経済情勢は目を離せない状況にあります。

当社が属するコンクリート製品製造業界におきましては、当業界が依存度の高い公共事業分野については国並びに地方自治体の厳しい財政状況を背景に公共工事・土木分野の建設投資の縮減傾向が続く状況下で、同業者間の過当競争に歯止めがかからぬまま依然として厳しい経営環境下にあります。

このような経営環境下で当社は、市場ニーズ・成長分野を捉えた営業戦略の強化並びに生産性・採算性の向上に鋭意努力するとともに、新たな事業領域を目指し子会社を設立するなど、グループ全社の業績向上と持続的発展を目指した事業展開を図ってまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高につきましては、133億82百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

利益面につきましては、当初からの想定通り鉄筋、セメント、重油等資材の価格暴騰によるコストアップなどの減益要因はあったものの、徹底したコスト削減・生産性の向上を図り、概ね計画通り営業利益は1億74百万円（前年同期比47.8%減）、経常利益は1億65百万円（前年同期比55.4%減）、当期純利益は1億43百万円（前年同期比56.0%減）を達成いたしました。

(売上高の内訳)

(単位：千円)

期 別 部 門	第50期 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで		第51期 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで	
	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)
コンクリート製品製造・販売事業	13,202,562	100.0	13,120,550	98.0
土 木 部 門	12,411,116	94.0	12,402,008	92.7
景 観 部 門	410,025	3.1	342,500	2.5
レジンコンクリート部門	381,420	2.9	376,041	2.8
そ の 他 の 事 業	2,654	0.0	261,814	2.0
合 計	13,205,216	100.0	13,382,364	100.0

## 2. 資金調達の状況

資金調達につきましては、金融機関よりの借入れによる経常的な資金調達のみであります。

## 3. 設備投資の状況

- ① 当連結会計年度中の設備投資の総額は1億55百万円であります。
- ② その主なものは各工場における工具型枠及び機械装置であり、機械装置については以下のとおりであります。

工 場	内 容
高 崎 工 場	即脱成型機
北 九 州 工 場	4.8 t クレーン新設 (2台)

#### 4. 対処すべき課題

当社が属するコンクリート製品製造業界におきましては、依然として公共投資が減少基調で推移することが予想されるなか、需要の減少と業界の過剰供給構造による過当競争が続くものと想定されます。更に、鉄筋、セメント、重油等資材価格の異常な水準での高止まりがコスト面に非常に大きな影響を与えることが想定されており、当社グループを取り巻く経営環境は厳しさを増していくものと認識しております。

このような状況にあって当社グループは、市場縮減、過当競争下における受注力強化、コスト競争力の強化、品質並びに生産性の向上、新商品の開発等による需要の創造等により継続的に取り組み、利益確保に努めてまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、何卒絶大なご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 5. 財産及び損益の状況の推移

##### ① 企業集団の財産及び損益の状況の推移

区 分	平成16年度 第48期	平成17年度 第49期	平成18年度 第50期	平成19年度 第51期(当連結会計年度)
売 上 高(千円)	11,021,482	11,231,804	13,205,216	13,382,364
経 常 利 益(千円)	213,239	503,625	370,641	165,480
当 期 純 利 益(千円)	404,471	392,058	327,571	143,975
1株当たり当期純利益	76円75銭	86円98銭	69円75銭	28円77銭
総 資 産(千円)	9,557,446	9,627,990	11,079,665	11,022,702
純 資 産(千円)	834,596	1,252,022	1,583,596	1,650,686
1株当たり純資産	52円04銭	144円65銭	212円77銭	229円94銭

(注) 第50期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

##### ② 当社の財産及び損益の状況の推移

区 分	平成16年度 第48期	平成17年度 第49期	平成18年度 第50期	平成19年度 第51期(当期)
売 上 高(千円)	11,059,945	11,230,243	12,575,938	12,190,506
経 常 利 益(千円)	211,634	492,118	367,528	165,428
当 期 純 利 益(千円)	403,359	386,012	331,757	156,478
1株当たり当期純利益	76円53銭	85円63銭	70円68銭	31円55銭
総 資 産(千円)	9,565,354	9,555,163	10,687,302	9,891,734
純 資 産(千円)	835,322	1,246,702	1,570,855	1,667,790
1株当たり純資産	52円21銭	143円47銭	212円52銭	233円79銭

(注) 第50期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。

## 6. 主要な事業内容

### 企業集団の主要な事業内容

#### ①コンクリート製品製造・販売事業

セメント製品の製造・販売並びに施工、一般土木工事の施工並びに管理、樹脂コンクリート製品の製造・販売並びに施工を主な事業とし、その製品は大別して、次のとおりであります。

土木製品	河川製品類	ケスタ、グリーンロック、ネクストーン、E-ブロック、げんじくん、かご柵、のり柵、がんちゃん、のぼるくん、とおりゃん瀬、擬木沈床、CCブロック	舗装材	洗い出し及び擬石による平板・歩車道ブロック・縁石・階段・皿型、植込柵、植樹柵 他
	擁壁類	パワーロック、逆Y型擁壁、ゆうパネル		ストリートファニチャー
	L型擁壁類	NNC、ハイタッチウォール、スーパークリフ、ガードクリフ	レジンコンクリート製品	
	カルバート類	ボックスカルバート、大型斜角カルバート、アーチカルバート、エアークャスター工法、スパンザウォール工法、Ap_pass工法、テクスパン		
	函渠・暗渠類	ライン側溝、サイドライン側溝、側溝カルバート、NJ境界集水溝、重圧管		
	側溝類	ピット側溝、リボーン側溝、SF側溝、YCL側溝、トライポット用側溝		
	道路製品類	そうげん、プレガードⅡ、PGF、SGF（仮設用防護柵）		
水路類	YT水路、三面水路、軽量三面水路			
その他	アクアボンド、ボックスガレージ、防火水槽、耐震性貯水槽			

#### ②その他の事業

主に情報機器の開発・販売、コンクリート構造物の点検・調査業務の請負並びに貼紙、落書予防用塗料等の開発及び製造・販売の事業を行っております。

## ●土木部門

道路、港湾、河川、上下水道、宅地開発、防災など、私たちの周りではさまざまな目的で開発事業が進められておりますが、今日の開発事業は環境への配慮を抜きには考えられなくなってまいりました。土木部門では、「開発の基本は自然との共存である」という考えからさらに一歩進んで「自然の姿を破壊せずに融合を図り、より自然に近い環境を創出する」ことを念頭においたコンセプトをもとに、国土を守り、環境を保全し、人々の快適な暮らしを支える製品を数多く生み出しています。



ネクストーン



アクアボンドS型

## ●レジンコンクリート部門

レジンコンクリートは特殊樹脂をバインダーとして自然石を固化成形した人造石です。セメントコンクリートの3~4倍の機械的強度があり、耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などにも優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な材料です。港湾、漁港の車止め、コーナー及び係船柱は塩害対策として利用されています。又、多彩な色彩表現及び優れた成形性によりアート感覚溢れる景観構成材としても幅広く利用されています。



カーストップ



YRG集水蓋

## ● 景観部門

街や都市の公園、テーマパークやアーバンリゾートは、人々の心の伸びやかさ、感受性の豊かさを育むうえで必要不可欠のものです。

緑地の花や樹木、自然の風景は人の心をなごませ潤いを与えます。

多彩な表情を持つヤマウの景観構成材は自然環境に広がり、と奥行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。



擬石平板、車止め



車止め

## トピックス

### スパンザウォール工法

スパンザウォール工法は、プレキャスト部材と現場打コンクリートを併用したハーフプレキャスト・ボックスカルバートです。本工法はこれまで困難とされていた超大スパン構造や形状、寸法に対して設計の自由度が高いボックスカルバートを実現します。

#### 特長

- ① コスト削減  
プレキャスト部材と現場打コンクリートの併用により、型枠の大幅な省力化や型枠支保工などの削減が可能となり、工期の短縮にもつながります。
- ② 底版構造  
現場打ちボックスカルバートと同様のRC構造です。側壁底版との接合部はコンクリートのせん断キーと機械式鉄筋継手から成り、一体打ちした底版と同等の耐力を有しています。
- ③ 頂版構造  
立体トラス筋を有するプレキャスト製頂版スラブを型枠として、その上に配筋・現場打ちコンクリートを打設した合成スラブ構造です。側壁との接合部はフック継手とし、一体打ちと同等の耐力を有しています。



# 財務諸表

## 貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額
(資産の部)	
流 動 資 産	6,801,170
現金及び預金	353,312
受取手形	2,473,590
売掛金	2,181,379
有価証券	798
商 品	20,499
製 品	1,263,129
原材料・貯蔵品	175,666
仕掛品	65,476
前渡金	189,483
前払費用	26,312
未収入金	26,646
その他	92,269
貸倒引当金	△ 67,394
固 定 資 産	3,090,564
有形固定資産	2,623,984
建 物	656,489
構 築 物	123,934
機 械 装 置	517,458
車 両 運 搬 具	3,469
工具器具及び備品	134,436
土 地	1,178,109
建設仮勘定	10,087
無形固定資産	56,106
電話加入権	11,418
その他	44,687
投資その他の資産	410,473
投資有価証券	150,251
関係会社株式	172,760
差入保証金	38,962
破産更生債権等	241,782
その他	56,248
貸倒引当金	△ 249,530
資 産 合 計	9,891,734

科 目	金 額
(負債の部)	
流 動 負 債	4,023,928
支払手形	2,271,776
買掛金	616,891
短期借入金	500,000
未払金	461,997
未払法人税等	16,781
未払消費税等	17,789
預り金	2,511
賞与引当金	68,178
短期設備支払手形	49,092
その他	18,909
固 定 負 債	4,200,015
長期借入金	3,738,600
退職給付引当金	448,352
繰延税金負債	12,413
リース資産減損勘定	649
負 債 合 計	8,223,943
(純資産の部)	
株 主 資 本	1,651,283
資 本 金	800,000
資 本 剰 余 金	300,000
資 本 準 備 金	300,000
利 益 剰 余 金	562,845
その他利益剰余金	562,845
特別償却準備金	1,805
繰越利益剰余金	561,039
自 己 株 式	△ 11,561
評価・換算差額等	16,507
その他有価証券評価差額金	16,507
純 資 産 合 計	1,667,790
負 債 及 び 純 資 産 合 計	9,891,734



## 損益計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
売 上 高		12,190,506
売 上 原 価		9,462,369
売 上 総 利 益		2,728,137
販売費及び一般管理費		2,542,004
営 業 利 益		186,132
営 業 外 収 益		
受取利息・配当金	5,838	
保険配当金収入	513	
業務受託料収入	14,062	
鉄屑処分収入	32,362	
そ の 他	35,047	87,825
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	85,110	
たな卸資産評価損	4,909	
そ の 他	18,509	108,529
経 常 利 益		165,428
特 別 利 益		
貸倒引当金戻入額	35,800	35,800
特 別 損 失		
固定資産除却損	15,372	
減 損 損 失	16,857	
そ の 他	906	33,136
税引前当期純利益		168,092
法人税、住民税及び事業税	12,664	
法人税等調整額	△ 1,049	11,614
当 期 純 利 益		156,478

## 株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(千円未満切捨)

	株 主 資 本		
	資 本 金	資 本 剰 余 金	
		資本準備金	資本剰余金合計
前 期 末 残 高	800,000	300,000	300,000
当 期 変 動 額			
剰余金の配当			
特別償却準備金の取崩			
当 期 純 利 益			
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			
当期変動額合計	—	—	—
当 期 末 残 高	800,000	300,000	300,000

	株 主 資 本				
	利 益 剰 余 金			自己株式	株主資本 合 計
	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計		
	特別償却準備金	繰越利益剰余金			
前 期 末 残 高	3,354	420,766	424,120	△ 11,561	1,512,558
当 期 変 動 額					
剰余金の配当		△ 17,754	△ 17,754		△ 17,754
特別償却準備金の取崩	△ 1,548	1,548	—		—
当 期 純 利 益		156,478	156,478		156,478
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△ 1,548	140,272	138,724	—	138,724
当 期 末 残 高	1,805	561,039	562,845	△ 11,561	1,651,283

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前期末残高	58,296	58,296	1,570,855
当期変動額			
剰余金の配当			△ 17,754
特別償却準備金の取崩			—
当期純利益			156,478
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△ 41,788	△ 41,788	△ 41,788
当期変動額合計	△ 41,788	△ 41,788	96,935
当期末残高	16,507	16,507	1,667,790

# 連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額
(資産の部)	
流動資産	7,837,498
現金及び預金	1,121,483
受取手形及び売掛金	4,919,770
有価証券	798
たな卸資産	1,615,232
前渡金	189,483
その他	64,304
貸倒引当金	△ 73,574
固定資産	3,185,203
有形固定資産	2,675,629
建物及び構築物	795,446
機械装置及び運搬具	522,244
土地	1,209,508
建設仮勘定	10,087
その他	138,343
無形固定資産	111,743
のれん	53,971
その他	57,772
投資その他の資産	397,830
投資有価証券	228,077
その他	422,579
貸倒引当金	△ 252,826
資産合計	11,022,702

科 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	5,074,860
支払手形及び買掛金	3,162,408
短期借入金	1,130,396
未払金	543,657
未払法人税等	31,772
賞与引当金	72,616
その他	134,008
固定負債	4,297,155
長期借入金	3,785,037
退職給付引当金	457,511
役員退職慰労引当金	41,520
繰延税金負債	12,437
その他	649
負債合計	9,372,015
(純資産の部)	
株主資本	1,639,913
資本金	800,000
資本剰余金	300,000
利益剰余金	551,475
自己株式	△ 11,561
評価・換算差額等	10,521
その他有価証券評価差額金	10,521
少数株主持分	251
純資産合計	1,650,686
負債及び純資産合計	11,022,702

## 連結損益計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
売 上 高		13,382,364
売 上 原 価		10,219,601
売 上 総 利 益		3,162,763
販売費及び一般管理費		2,987,948
営 業 利 益		174,814
営 業 外 収 益		
受取利息・配当金	4,810	
保険配当金収入	10,534	
鉄屑処分収入	32,362	
そ の 他	56,594	104,302
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	87,460	
たな卸資産評価損	4,909	
そ の 他	21,266	113,636
経 常 利 益		165,480
特 別 利 益		
貸倒引当金戻入額	36,414	36,414
特 別 損 失		
固定資産除却損	15,372	
減 損 損 失	16,857	
そ の 他	2,546	34,776
税金等調整前当期純利益		167,118
法人税、住民税及び事業税	34,878	
法人税等調整額	△ 378	34,500
少 数 株 主 損 失		11,356
当 期 純 利 益		143,975

## 連結株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(千円未満切捨)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前 期 末 残 高	800,000	300,000	425,254	△ 11,561	1,513,692
当 期 変 動 額					
剰余金の配当			△ 17,754		△ 17,754
当 期 純 利 益			143,975		143,975
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	126,221	—	126,221
当 期 末 残 高	800,000	300,000	551,475	△ 11,561	1,639,913

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
前 期 末 残 高	58,296	58,296	11,608	1,583,596
当 期 変 動 額				
剰余金の配当				△ 17,754
当 期 純 利 益				143,975
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 47,774	△ 47,774	△ 11,356	△ 59,131
当期変動額合計	△ 47,774	△ 47,774	△ 11,356	67,089
当 期 末 残 高	10,521	10,521	251	1,650,686

# 会社の株式に関する事項 (平成20年3月31日現在)

## ●株式の状況

① 発行可能株式の総数 ..... 22,024,000株

種 類	発行可能株式の総数 (株)
普 通 株 式	20,024,000
第 1 回 優 先 株 式	2,000,000

② 発行済株式の総数 ..... 7,506,000株

種 類	発行済株式の数 (株)
普 通 株 式	5,506,000
第 1 回 優 先 株 式	2,000,000

③ 株主の数 ..... 585名

種 類	株 主 の 数 (名)
普 通 株 式	584
第 1 回 優 先 株 式	1

## ●大株主の状況

① 普通株式

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
明治安田生命保険相互会社	325,000	5.90
第一生命保険相互会社	240,000	4.36
株式会社福岡銀行	222,000	4.03
株式会社鹿児島銀行	195,000	3.54
ヤマウ従業員持株会	188,000	3.41
株式会社トクヤマ	181,000	3.29
株式会社西日本シティ銀行	160,000	2.91
株式会社佐賀銀行	130,000	2.36
リックス株式会社	112,000	2.03
昭和高分子株式会社	101,000	1.83

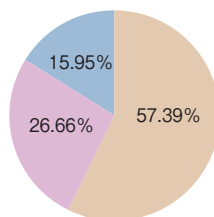
(注) 当社は、自己株式999,940株を所有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

② 第1回優先株式

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社福岡銀行	2,000,000	100.00

## ●普通株式所有者別状況

個人・その他	510名	3,160,000株	57.39%
金融機関	13名	1,468,000株	26.66%
その他法人	61名	878,000株	15.95%



# 会社概要

## ●会社概要

商号	株式会社 ヤマウ
本社	福岡市早良区東入部 五丁目15番7号
創業	昭和28年10月
設立	昭和33年2月
資本金	8億円
代表者	代表取締役 権藤 勇夫
従業員	246名 (平成20年3月31日現在)

## ●役員構成

代表取締役社長	……………	権 藤 勇 夫
常務取締役	……………	中 村 健一郎
取締役	……………	伊 佐 寿 起
取締役	……………	尾 野 友 信
常勤監査役	……………	平 野 貞 義
監査役	……………	長 野 紘 一
監査役	……………	加 納 硬

(平成20年6月27日現在)



## ●事業所

営業所 福岡中央、福岡東、北九州、久留米、佐賀、唐津、大分、大分北、  
宮崎第1、宮崎第2、延岡、日向、日南、高鍋、都城、鹿児島中央、  
鹿児島北、鹿児島南、鹿屋、霧島

工場 福岡、北九州、佐賀、大分、宮崎、川南、高崎、鹿児島  
(平成20年6月27日現在)



宮崎工場



鹿児島工場

## 株主メモ

決算期日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日 毎年3月31日

その他必要があるときは、予め公告をして定めます。

1単元の株式数 1,000株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社

全国各支店

公告掲載方法 日本経済新聞

貸借対照表及び損益計算書の公告は、当社ホームページ

(<http://www.yamau.co.jp/>) に掲載しております。

この冊子は再生紙を使用致しております。